

商業（簿記）

履修単位	3単位	学年	2年	学科	商業科	コース	全コース	区分	必修・選択
------	-----	----	----	----	-----	-----	------	----	-------

1 学習内容と学習目標

簿記に関する知識と技術を習得し、その基本的なしくみについて理解するとともに、適正な会計処理を行う能力や態度を身に付ける。

2 教材等

教科書：新簿記 新訂版（実教出版）
 補助教材：完全段階式標準検定簿記問題集 全商2級（東京法令出版）
 全商簿記実務検定模擬試験問題集2級（実教出版）

年間学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
一 学 期	第6編 取引の記帳（その2） 26章 特殊な商品売買の取引 27章 特殊な手形の取引	4	○割賦販売・委託販売・未着商品売買・試用販売・予約販売に関する取引について、それぞれの内容を理解するとともに、正確・明瞭に記帳する能力を身に付ける。 ○自己受為替手形・手形の書き換え・手形の不渡り・荷付為替手形・手形の保証債務について、それぞれの内容を理解するとともに、正確・明瞭に記帳する能力を身に付ける。	中間 考查
	第7編 仕訳帳の分割 28章 仕訳帳の分割	5	○記帳の合理化の必要性とその基本的な考え方を理解するとともに、帳簿組織を立案し、記帳を合理的に行う能力を身に付ける。 ○複合仕訳帳制度の意味を理解し、取引を正確・明瞭に記帳する能力を身に付ける。	期 末 考 査
	【全商簿記実務検定】	6	○現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳・普通仕訳帳について、それぞれの内容を理解するとともに、正確・明瞭に記帳する能力を身に付ける。	
	29章 5伝票による記帳	7	○伝票の利用による合理化の意義について理解する。 ○仕入伝票・売上伝票の起票・集計・転記を習得するとともに、取引を明確・明瞭に処理する能力を身に付ける。	
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、考查訂正 等				
《第1学期の評価方法》 定期考查、授業態度(出欠含む)、課題提出状況等を総合的に評価する。				
二 学 期	第8編 本支店会計 30章 本支店の取引	9	○支店会計を独立させる必要性を理解する。 ○本支店間の取引と支店の純損益計上の記帳整理を理解する。	中 間 考 査
	30章 本支店の取引	10	○本店集中計算制度の意味と支店相互間の取引の記帳整理を理解する。	期 末 考 査
	31章 本支店の財務諸表の合併	11	○本支店財務諸表を合併する必要性を理解する。 ○未達取引の整理方法を習得し、合併財務諸表の内容を理解するとともに、正確・明瞭に記帳する能力を身に付ける。	
	発展編 株式会社の取引 32章 株式会社の取引（その1）	12	○株式会社の設立・株式の発行に関する取引の記帳について理解する。 ○株式会社の純資産について理解し、設立時・新株の発行時の記帳処理を理解する。 ○株式会社と個人商店とでは当期純損益の決算振替が異なることを理解し、純利益の計上・剰余金の配当と処分について適正に処理する能力を身に付ける。	
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、考查訂正 等				

	《第2学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題提出状況等を総合的に評価する。		
三 学 期	3 3 章 株式会社の取引 (その2) 【全商簿記実務検定】	1	○社債の発行による資金調達について理解し, 発行・利払い・償還について適正に処理する能力を身に付ける。
	3 3 章 株式会社の取引 (その2)	2	○株式会社の税務について理解し, 中間申告・決算・確定申告において適正に処理する能力を身に付ける。
	本支店間の取引復習 発展学習 内部利益の控除	3	○内部利益の算出方法を理解し, 内部利益を控除する本支店合併財務諸表の作成方法を理解する。
	《課題・提出等》 ノート, プリント, 問題集, 小テスト(訂正を含む), 宅習課題, 考査訂正 等		
	《第3学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題提出状況等を総合的に評価する。		
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は, 後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し, 年間の学習成績として評価する。			

学年末考査

4 評価の観点と評価方法

学習状況は, 「関心・意欲・態度」, 「思考・判断・表現」, 「技能」, 「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	財務諸表や各種帳簿類に関心を持ち, 取引の記帳に積極的に取り組み, さらにビジネスの諸活動を把握しようとしているか。	授業態度・定期考査 課題提出
思考・判断・表現	企業における日常の取引を簿記特有のルールから思考し, 基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し仕訳をしているか。 財務諸表や各種帳簿類の仕組みを思考し, 合理的な財務諸表や各種帳簿類を判断しようとしているか。	授業態度・定期考査 課題提出
技能	企業における日常の取引などを計数的に把握するとともに, 合理的, 能率的に記録・計算・整理することを理解しているか。 財務諸表や各種帳簿類に関する基礎的・基本的な技術を身に付け, それらを合理的・能率的に作成することができるか。	授業態度・定期考査 課題提出
知識・理解	取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付け, 企業における日常の取引などの簿記一巡の手続きや記帳方法を理解しているか。 財務諸表や各種帳簿類に関する基礎的・基本的な知識を身に付け, それらの意義や役割を理解しているか。	定期考査・課題提出 検定

5 授業を受ける際の注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・科目「簿記」は, 1年次と2年次の継続履修である。 ・学習の到達度を測るため, 原則として全商簿記実務検定2級を受験する。 ・学期ごとの評価が, 30点に満たない生徒へは追指導を実施する。 ・このシラバスは, あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。
